

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		平成24年度第1回 川西市補助金等審議会		
事 務 局 (担当課)		総合政策部 政策推進室 行財政改革課 (内線:2112)		
開 催 日 時		平成24年7月10日(火) 19:00~20:30		
開 催 場 所		川西市役所4階 庁議室		
出 席 者	委 員	岡本 清 和田 聡子	佐々木 保幸 加門 文男	中川 幾郎 築瀬 繁子
	そ の 他			
	事 務 局	総合政策部長、政策推進室長、行財政改革課長、行財政改革課長補佐、行財政改革課主任		
傍聴の可否		可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 委員自己紹介 5. 議事 (1) 会長選任 (2) 諮問 (3) 補助金改革の経緯及び現状等について (4) 今後の進め方について (5) その他 6. 閉会		
会 議 結 果		1. 開会 2. 委嘱状交付 市長より委員6名へ委嘱状を交付した。 3. 市長あいさつ 4. 委員自己紹介		

5. 議事

(1) 会長選任

会長に中川委員が選任され、会長代理として、和田委員が中川会長より指名された。

(2) 諮問

市長より中川会長に「川西市における補助金等にかかる今後のあり方」について諮問した。

(3) 補助金改革の経緯及び現状等について

本市の補助金改革の経緯及び現状等について事務局より説明し、各委員より意見・質問を受けた。

(4) 今後の進め方について

今後の進め方について事務局より説明した。

(5) その他

日程調整を行い、次回開催日時を8月8日(水)18時からとした。

6. 閉会

事務局	<p>皆さんこんばんは。ご案内しておりました時間がまいりましたので、第1回川西市補助金等審議会を開会させていただきます。</p> <p>本日はご多忙にもかかわらずご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日の司会をさせていただきます、総合政策部政策推進室長の石田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議は川西市参画と協働のまちづくり推進条例の第10第3項の規定によりまして公開というかたちにさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず初めに皆様方へ川西市補助金等審議会委員の委嘱状を市長の方から交付させていただきます。その場で市長ほうから受けていただきますようよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p style="text-align: center;">【委嘱状の文面読み上げ・手渡し】</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、大塩市長からご挨拶をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>改めまして皆様こんばんは。市長の大塩でございます。皆様方には平素より、川西市の市政につきましてそれぞれの形で色々とお世話になっておりまして、ありがとうございます。またこの度、皆様方には、当審議会委員のご就任をお願いさせていただきましたところ、快くお引き受けくださり、誠にありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。</p> <p>今私も川西市におきましては、来年度、平成25年度から始まります、第5次の総合計画の策定をしておるところでございます。この経過につきましては今後の10年間のことにつきまして、第5次というところでございますけれども、その中で参画と協働のまちづくりというふうなことを重きに置きながら進めていこうというふうに思っておるところでございます。従来と随分、10年前、更にその20年前と比べますと今後の10年というのは随分と世の中が変わってこようという予測がされておりますし、今までのような右肩上がりの人口増という中では大きく違いますので、そのような時代に合った街づくりをしていきたいというふうな想いで総合計画を準備しているところでございます。そういうふうな計画をたてるにはですねやはり感じますのは社会情勢というものも随分変わってきておることも事実でございます、更には今申しました少子高齢化ということもでございます。それから、長年言われておりますけどもデフレというかそのような状況を受けまして、地方自治体も財政が逼迫しておることも事実でございます。しかし、そんな中でマイナスから入りますと、どうも話が進みません。やっぱりそういうふうなことも効果的な使い方といいますか循環をしていくんだと、そういうようなことをしっかりと捉えていきたいと思っております。そのような意味での行財政改革とい</p>

うものもやっぱり必要であろうというふうには思っております。

その中におきまして、皆様方にもお願いをしております補助金のあり方ということにつきましても大きな重要な課題というふうに捉えております。ただ、今申しましたようにマイナス思考で考えるだけでなく、やっぱりこの補助金の効果ですね、そういうふうな形、必要でないところには補助金はいらないと思いますけれども、どのような形の補助金が必要であるかという事は皆様方にもしっかりとご議論いただけましたら嬉しいと思う所でございます。そういう意味では現行の補助金の検討・見直しということをお願いするところでございますけれども、今、市は昨年度から地域のことは地域でと、今まで以上をお願いしておるところでございますけれども、おかげ様で川西はそういう意味ではかなり土壌があるという。それをこれからの時代にはさらに進化をしていく時代ではないかと。そういう人口が伸びない、そんな中では必要ではないかと思っております。それには私は一定の権限と一定の財源という話しをしておりまして、財源すなわち補助金ではないかというふうに思うところでございますので、非常に難しい議論といえますか、課題もかかえておるところでございますが、将来を見た時にはそういうシステムは私は必要であろうというふうに思っておりますので、そのようなことにつきましても基本的な方向につきましてもぜひご審議をいただければ嬉しく思う所でございますので、大変皆様方にはご苦勞をおかけすると思っておりますけれども、ご理解と、そして、ご協力をよろしくお願い申し上げます、私からのあいさつとさせていただきます。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

事務局

それでは、本日お集まりの委員の皆様には初めてお目にかかるという方もいらっしゃるかと思いますので簡単にではございますけれども自己紹介をお願いしたいと思います。順番としましては先ほど市長から委嘱状を交付をさせていただいた順番で、よろしくお願いいたします。

【委員自己紹介】

事務局

皆様、ありがとうございました。続きまして、当審議会の事務局職員をご紹介します。

【事務局紹介】

事務局

それでは、本日、ただいまからの議事に移りたいと思いますが今の段階では、まだ、議長となる会長が選任されておりませんので、恐れ入りますが進行は事務局でさせていただきます。よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

それでは、事務局の方で議事を進めさせていただきます。

それでは、まずはじめに、川西市補助金等審議会規則第5条の規定により、「会長は

	<p>委員の互選により定める」と規定しておりますので、選出のほうをお願いをしたいと考えますが、何かご意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>さきほどの自己紹介のところでもございましたように、帝塚山大学の中川先生が本審議会、以前にもご経験されておりますので、我々なかなか分かりにくいところもございますので、ぜひ中川先生にお願いできればと思います。</p>
事務局	<p>ただいま「中川委員」というお声があがりましたが、皆様いかがでしょうか。</p>
	<p style="text-align: center;">【拍手】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは異議がございませんので、中川委員に当審議会の会長にご就任をいただきたいと存じます。中川委員におかれましては、これから当審議会の進行等どうぞよろしくお願いいたします。恐れ入りますが、会長席のほうに席の移動をお願いいたします。</p>
	<p>それでは、中川会長、恐れ入りますが、就任にあたりまして一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>改めまして、皆様こんばんは。今ご推挙いただきまして会長を務めさせていただきます。この第2次の審議会で会長をさせていただいて、またお手元で配られる資料のとおり一応整理したのですけれども、まだ発展途上の川西の現状にもう少し再生が必要なのではないかなというふうにお問合せいただきまして、それならば、という事で参りました。</p> <p>私自身も川西のすぐ近くの豊中市民で、川西は小さいころよく遊びに来た場所になりますので、なじみが深い、素敵な好きな場所です。そういう良い街になってほしいなという願いを込めて、皆さんと一緒に審議会を進めてまいりたいと思いますのでどうかよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>中川会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に、同じく川西市補助金等審議会規則第5条の規定のとおり、会長に不測の事態が生じた時にその職務を代理していただくということで、会長代理の指名を会長からご指名いただく事になっておりますので、中川会長、ご指名のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、以前に当審議会において、私と同期ではなかったかなと思うのですが、委員をされたご経験がおありと聞いております「和田委員」さんに副会長をしていただけたら助かるのですが。どうぞよろしくお願いいできませんでしょうか。</p>

委員	よろしく願いいたします。
会長	ありがとうございます。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、和田委員、会長代理というところで、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは続きまして、川西市補助金等審議会規則第2条の規定によりまして、市長から諮問をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、市長、中川会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>
市長	【諮問書朗読・手渡し】
事務局	<p>ありがとうございました。ここで、市長は、次の公務のため退席させていただきます。</p> <p>それでは、ここからは中川会長に進行をお願いいたします。中川会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは皆様、どうかよろしく願いいたします。ただいま、この会に對しまして市長さんから諮問を受けました。委員の皆様の活発なご意見を集約して、これからの川西市の着実な発展のために、今後の補助金のあり方についての答申をまとめてまいりたいと存じます。</p> <p>なお、今日は初回ということでもございますので、委員の皆様も遅い目からスタートしてお疲れのことかもしれませんのでおおむね21時を目途として進めてまいりたいと存じますので、どうかよろしく、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。</p> <p>それでは早速でございますが、次第5の(3)「補助金改革の経緯及び現状等」について、事務局さんよりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料確認】</p> <p>【資料1 川西市の補助金改革】</p> <p>【資料2 川西市における補助金等にかかる今後のあり方について(答申) 平成15年10月29日 川西市補助金等審議会】</p> <p>【資料3 川西市における補助金等にかかる今後のあり方について～第二次補助金改革に向けて～ 平成20年10月 川西市補助金等審議会】</p> <p>【資料4 補助金等の適正化について 平成21年10月30日 企画財政部】</p> <p>【資料5 川西市補助金当初予算比較】</p> <p>【資料6 補助金H24・23当初予算比較】</p> <p>【資料7 地域団体等への補助金(D区分)イメージ図】</p>

	に基づき説明。
会長	<p>ありがとうございました。ただいま資料の順番に沿って詳しく説明いただきましたが、何分、膨大な中身ですので、分かりにくい点もあるかと思えます。ただいまの説明について分かりにくい点、ご質問等ございませんでしょうか。お一人ずつ聞きましょうか。</p>
委員	<p>資料3の11ページ今後の補助金のくだりで、市民による評価については(仮称)市民参加条例制定後の導入と書いてありますが、条例の動きはその後進んでいますか。</p>
事務局	<p>市民参加条例という名称ではないのですが、平成22年10月にですね、市民参画と協働のまちづくり推進条例というかたちで市民の市政への参画を保障する条例を施行しているところでございます。</p>
委員	<p>それに伴って今後の補助金の評価という事もなにか形は作られたんですか。</p>
事務局	<p>その段階ではですね当然、協働と参画というところで協働の部分は入ってるんですけども特に公募型補助金というような部分で制度が作られたということではございません。その中に一部、例えば都市計画でこの地区計画をする際に少し地域団体とか自治会という所から提案をいただいて、それについて補助を交付するというような少し小さいレベルの公募型はございますけど、ここの答申で出しているような大きな形での例えば、NPOを中心にしたというような公募型補助金についてはまだ導入をしていないという事になっています。</p>
委員	<p>公募型補助金の導入の前提となる評価の方法とか、そういう文言的なものもまだ作られていないんですか。</p>
事務局	<p>実は、昨年度、地域のほうに回らせていただいて、地域別懇談会、これのそもそもの前提条件としますのが市長の施政方針の中にありました地域分権制度、これは地域予算という事で地域団体の方に、ただこれの最終の単位であります、それが自治会なのかコミュニティなのかというようなところは、まだこれから議論ではありますけれども、そういった地域予算と合わせて今ご説明しましたNPOでありますとかボランティア団体、それ以外の活動団体に対してセットで公募型補助金を制度として構築していこうと。それを今年度、地域の方に入りますとともに、そこは地域団体のみならず、NPOとかボランティア団体、それ以外の例えばひょっとしたらサークルでありますとか、そういった街づくりの主体に集まっていただいて、こういった制度がいいのか、使い勝手の話、こういったところのご意見をいただきながら、制度の構築に向けて進めていきたいというふうに考えております。</p>

委員	<p>いろいろな市町村でこの方向で動いておられると思うのですが、近隣の市町村でも公募型補助金が活発に動いているというようなことは聞かれていますか何か。</p>
事務局	<p>十分、先進事例はつかんでおります。会長のご出身でもある豊中市なんかにもですね、まさにこういった動かし方をやっておられます。先ほど申し上げましたが、別途審議会を設けましてですね、基本条例の中でも基本計画を作るという事がうたわれておりますので、その審議会の中で基本計画を策定中であるのですが、そこでもですねやはりこういった新たないわゆる公募型の補助金についても今議論がまさに進められている最中というところでございます。その中で骨子が決まってまいりましたら、当審議会でいただきました考え方ですね、こういう部分についても提供をさせていただきたいなと思っております。</p>
会長	<p>ただいまお話しに出ていました公募型補助金は豊中市、既に動いていますよね、箕面市もやっていますね。それから西宮市も同類の、やられていますよね。あとはどうですかね、この近くで。宝塚もですかね。そんなもんですか。知っているのは、ただ公募型補助金の対象となるのは地域コミュニティではなくて、いわゆるNPO型のアソシエーション系の個人市民結集型の市民公益活動団体をターゲットにしている。川西市の場合は、いわゆるまちづくり協議会と言っていいんですかね。川西の場合は。</p>
事務局	<p>今のところはコミュニティ推進協議会です。</p>
会長	<p>じゃあ、コミ協としましょう。コミュニティ推進協議会さんの方に対しては、補助金をむしろ使いやすくする統合型の交付金に切り替えるべきじゃないだろうかというところで止まってたんです。それがまだ現在ここで議論していかねばならないことではないかなというふうには聞きました。</p> <p>ですから、コミュニティ系の資金をどういうふうにするかということと、アソシエーション系のNPO型のボランティア型の方にも助成金をどうするかという、大きく分けて2つあるなあというふうに思います。</p>
委員	<p>ちょっと今資料見たのが初めてなので頭が整理つかないので待っていただいていいですか。</p>
委員	<p>中身はまたこれから議論させていただくという事にさせていただいて、ちょっと細かい点ですけれども、資料6の単位はこれはもう全ての資料と同じで千円なんですか。</p>
事務局	<p>はい。そうです。</p>
委員	<p>資料5で、未分類というのがありますけれど、これはちょっと初めて見るので分からないのですが、未分類というのはどういうものなんですか。</p>

事務局	はい。ご説明させていただきます。実際にまずひとつとしまして、今回平成20年度の答申をAからEまで分けていただいた補助金から、新規に出てきた補助金、これが大きな要素となります。
委員	例えば21年度から22年度にかけてかなり増えていますけれども、例えばどういうものがこれだけ膨らんだのでしょうか。
事務局	大きなものといいますと、老人福祉施設の支援事業という事業名があるのですが、その中の地域介護福祉空間整備事業費補助金、例えばこういうのがございまして、これが実際には3,500万ほどあがっています。この部分というのが、D1ではないですけどAからそれぞれのあてはまるであろうけれども、新規ゆえにまだ当てはめていないという補助金になります。そしてその例えば後ですと、こども施策のほうの認定こども園の運営助成金というのが820万ほど。こういうものが大きなものとしてあがってきております。
委員	わかりました。
委員	私は地域分権という事で今、地域の方でも話の中に加えていただいている状態なんです。市の方とお話しさせてもらって、漠然とした私たちの地域の、これちょっと話しが逸れるかもわからないのですが、そういうものも出てきてはいるんですが、本当のところ私たちがこれをすると市が何を望んでいらっしゃるか、また私達は何ができるかという事がまだまだつかめていない状態なんです。今回また一つ一つの事業、D区分の中でいろんな会議のあれがありましたけど、それについて議論をしていくんだなということは、分かるのはわかるのですが、この内容については、まだまだ勉強させてもらわないとわからない状態です。
委員	かなり大変な作業になっていくかと思うのですが、ただ心強いのは今回、お2人の委員さんがまさにD区分、非常に関連のある団体で来られているということで、本当に地域密着といいますかね、いまどうということが地域で動いていて、市民の方もどのように積極的に活動されてというところだと思うんですね。そういう部分で本当にお二方のご意見というのは、地域に帰られてまた皆様のご意見をぜひ吸ってきていただきたいなと思いますが、私自身、専門からといたらおかしいんですけども、最初から意見を言うのもおかしいのですが、私のスタンスとしては、やはり本当に川西のいろんなコミュニティがございまして、比較的川西は、先ほど市長もおっしゃっていましたが、コミュニティ非常に活発な地域が比較的多い街だと思います。それでも温度差はあるかと思えます。そういった中で、モデル地域といいますかね。コミュニティがやっぱりある種こういうご時世なので、もらえるものはもらっておくという補助金の時代ではないので、やはりモデルとなりますところが率先してやはり、頑張っているところに補助金を

	<p>出してですね、やっぱり競争意識というのは非常に必要だと思うんですね。そういう部分では地域の方もやっぱり以前は10いただいていたのが5になれば、その辺やはり節約するでしょうし、国と一緒にやはりたくさんもらえれば無駄遣いもしてしまうとかですね、結局は予算消化で最後はあまりそんなにやりたくないけど、何か打ち上げを何とかですね、それよりももっと有効な使い方という部分とか、ぜひお2人の委員さんに、本当に有効な使い方という部分で少し、モデル的なところの地域、コミュニティなんかをドンドン具体的に出していただいたりとか、それで実際にこの辺の判断ができるのかなと。やはりその辺厳しさといいますか、景気が良い時代を皆さんに出せてた時代から今はもう違うと思いますので、やはりある種、頑張ったところという部分に、福祉的な要素はまた別の問題ですけれど基本的にやはり今は市民の意識という部分を少ししっかりと、自立したといいますかね。そのへん念頭に置かなければいけないだろうというふうに思いました。</p> <p>資料5なんですけれども、結局我々D区分を中心ということなんですけれども、このD区分でもですねD1とD2がありますよね。そのD1とD2の予算といいますか、これは一緒になってますよね。一緒に。でこれはD1とD2の内訳というのは資料としてはないんですよ。今日頂いた中では。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。ストレートに出ているものが、今は無いので。年度ごとのD1・D2の総額という部分でしたらお時間頂けたら出せるかと思えます。</p>
委員	<p>と言いますと、やっぱりこれは、地域団体が個人かという部分では、それを分けたものが必要かと思えます。次の時にでも。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
会長	<p>先ほど未分類の説明を私、聞き漏らしていたらごめんなさいですが、平成20年度以降に出てきた補助金とおっしゃっていましたが、20年度から出てきているんですよ。</p> <p>平成20年度以降というと、前回の審議会答申を出した後でこの区分に当てはまらなくなってしまったということですか。まだ区分整理していないということですか。</p>
事務局	<p>区分整理をしていないという補助金になります。</p>
会長	<p>もう一回再区分したらできるということになりますか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>20年度にさかのぼってやらないといけませんけど。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>

委員	ただ、D区分はないとおっしゃっていましたよね。
事務局	D区分ではないで、分類したらD区分に当てはまるものも、もちろん出てくるかと思っています。
委員	あ、そうなんですか
事務局	ただ、そのD区分におきましても、団体補助であるのかD2である個人給付といいですか、個人補助であるとかというのはまた更に分類する必要はありますけれども。
委員	全部がD区分に入るわけじゃないけど、その中にも精査すればあるかもしれないと。
事務局	はい。
委員	あ、そうですか。ちょっと私誤解していました。
委員	このD区分のですね、21年から22年にかけて見直しでずいぶん減らしてますよね。大体どんなものが減らされたというのが、また後日でけっこうですけどもわかれば教えていただければ。
事務局	<p>どういたしましょう、口答でよろしければ今ご説明させていただきますが、文章では作っておらないのですが。</p> <p>例えばですね、事業を精査しましたっていう補助金とそれと廃止しましたという補助金とございます。実際に廃止しましたという補助金につきましては額の大きなものというのはそれほど無いのですけれど、100万を超えるものとしましては、皮革産業協同組合連合会の補助金、この分が150万、これを廃止しております。そして、事業自体を精査した部分につきましては環境衛生推進協議会、環境衛生推進協議会の補助金につきましては40万円の減額、160万円から120万円にしております。これは何故かといいますと、実際に繰越金をたくさんお持ちになっていたと。いうところがございまして、その繰越金をまず消化してもらうように交渉してくださいということで担当課にお願いしまして、理解を得ていただいたので40万の減額という形になっております。そして全体的に見直しましたという部分が中身がややこしいのですが福祉医療実施協力補助金、これは医師会と歯科医師会に払っている部分でその福祉医療を推進するために歯科医師会にお願いしますというかたちの補助金を出していたのですが、実際にはこれは医療行為にあたりますので、補助しなくても医師会、歯科医師会が自らやるでしょうということで減額しておりますのが190万。それで額は小さいですが実際に補助団体が高齢化が進みましてこれ以上活動できないと言われたのが、原爆被害者の会、こちらの方が4万5千円。これ額が小さいのですが、こういうようなものを精査した結果、この額にな</p>

	ったという形でございます。
委員	皮革産業そのものは、なくなったということですか。
事務局	そうですね。
委員	ではこれは自然に、見直したというかたまたまなくなったと。
事務局	タイミング的にはちょうどよかったというかたちです。
委員	翌年これリバウンドしているわけですね。
事務局	これリバウンドといいますのが、実際には先ほどいいました、D 2の個人の方になるんですけども、この部分で増えているというのが、高齢者のおでかけ促進、これの対象者数の増です。これは個人給付になりますのでD 2になります。それと私立の幼稚園の就園奨励費。私立の幼稚園に行っている、いわゆる個人にわたる補助金というかたちで、この部分が増えています。で、この部分が実際、就園奨励費の場合3,500万、増えています。おでかけ促進につきましては240万。前年に比べて増えています。これが22～23に増えた主な理由になります。
会長	わかりました。誠実にご説明いただいて納得しているところですけど、やっぱりD区分の中のD 1とD 2の整理した図がやっぱり皆さんほしいと思うので、次回までに用意していただいたら議論も深まると思いますので、お願いできますか。 それと未分類のやつ、もう一度再整理できません。大丈夫ですか。そこまで言ったら過酷ですか。これ今回の審議会にご提出いただくのは、ずいぶんご努力なさったかと思うのですが、間に合わなかったのだと思いますけれど、ここまでの作業が。お忙しいし。それをもって、何というのかな、重箱の隅をつついていじめようなんて気持ちは全然ないので。見落としがないようにしたいだけです。
委員	今回の資料7の、さっきお話しのあったPTAですが、美化推進部と教育振興部で点線と実線が違うのですが、これは。
事務局	あ、ごめんなさい。
委員	美化推進部においては、つまりD 2で教育振興部においてはD 1という。
事務局	美化推進部の方なのですが、この補助金の名称といいますのが、再生資源ようは古新聞であるとかその部分を回収して、それを例えばキロあたりいくらでその地域へ配るといようなかたちの補助金になります。ですから総額というか定額ありきの補助金では

	<p>なしに変動がありますので、その部分で各自治会へのその時々に応じた給付という形で通常の任意の補助金というものとはちょっと分けた形になっておりますので、補助金の種類が変わっております。</p>
会長	<p>それで破線になっているんですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>そういう回収に協力する団体としては自治会・PTA・老人クラブ・子ども会とこんだけあるから、そのところが回収され、配分もされると、そういう事ですね。</p>
事務局	<p>そうではい。</p>
委員	<p>私ちょっと分からない、回収をするでしょ、それを市からまた、それを業者からじゃなくて、それを業者からももらえる、市からももらえる。</p>
会長	<p>市からでしょ。</p>
事務局	<p>市からです。</p>
会長	<p>他、ございませんか。議論をしっかりと効率的に進めていくために、分からないことをとことん聞いていただいたほうが、よろしいですか。 それではまたお気づきの時になんぼでも発言していただいてけっこうですので、次第の(4)ですが今後の進め方につきまして事務局から説明いただきます。</p>
事務局	<p>【資料8 補助金等審議会今後の進め方について(案)】 に基づき説明。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは今後の進め方について何かご質問等ございませんか。 。 コミュニティ協議会の発達というか、成熟に合わせてどれくらい、統合型といいますかね。踏み込んだらいいのかなあという感じに今来ているでしょうね。もうひとつはNPOに対して助成金を出す、公募型補助金をスタートさせていいのかなあという部分。そうすると両方食い違っていたら何か不公平かなと一緒によーいドンがいいのではないのかとか。そういうことを含めて判断すべきところが議論の対象でしょうかね。たぶん。 今までこれは無駄だだとか、これはちょっと無茶苦茶やないかというのは、もう第一</p>

	<p>次でだいぶ整理していただいていますよね。たぶんその議論は省けると思うんですけど。</p> <p>そんな無茶苦茶な補助金残っていないはずですしね。ほとんど整理したのではないでしようか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは先ほど言いましたように何かお気づきの点ありましたら、追加の質問でもよろしゅうございます。何かなんなりとご質問ございましたら。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>すみません。資料6の2枚目なのですが...</p> <p>先ほど1枚目の大きな障害者のところは対象事業者の減少で行革ではないということでしたよね。2枚目の方で大きなマイナスの、上から5つ目の項目、170万の。これはどういった経緯ですかね。これも行革ではないんですか。</p>
事務局	<p>この部分を行革としてやった部分ではないです。</p>
委員	<p>ではないですよね。</p>
事務局	<p>認可がされていない、いわゆる無認可の保育所、うちの方では無認可があまりにもダイレクトな表現なので地域保育園というかたちですけれども、一定の基準に達したところの無認可のところについて助成金を出しているという段取りでございます。</p>
委員	<p>件数は減ったんでしょうか。</p>
事務局	<p>件数はおそらく減った。</p>
会長	<p>無認可での開設所が減ったという事でしょうか。</p>
委員	<p>少子化で減っているということですか。</p>
事務局	<p>考えられるのはそもそも数が減ったのか、無認可から認可に移行するケースもありますので。</p>
委員	<p>ああ。なるほど。そっちが。</p>
事務局	<p>そうですね。23から24年にかけては認可が2か所増えております。</p>
委員	<p>規制緩和で広さの規制を緩められたんですよね。それで認可が増えた。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>

委員	2か所じゃあこれだけ変わってくる。
事務局	そうですね大きな理由としてはそれなのですが。すみません、今把握しているのはその理由になります。
委員	今めくっていただいた下から4番目の30万、50万、それぞれは。
事務局	この部分は、事業費の精査というかたちでさせていただいた部分です。源氏祭りと緑化協会の補助金です。
会長	ようするに事業を統一的に縮めたというふうにとったらいいですか。
事務局	そうですね、たとえば源氏祭りでありましたら、報償費を見直したとか、そのような部分での削減というかたちです。
委員	緑化という部分は具体的にこれは、各自治会とか、コミュニティとかですよ。
委員	この資料は基本的にD 1グループのみなんですか。
事務局	はい。これはD 1です。 すみません。これはもう一度確認させていただきます。
委員	事業精査というものが何か出てきた。
事務局	そうですね。ただ、ちょっと今ごめんなさい。手元の部分で、具体的にこれというものが無いので、申し訳ございません。
委員	減らせている部分は、やっぱりそのまま、それでいけるのであればいいんです。
事務局	記憶では、緑化協会が行っている事業内容をずっとやってきたのですが、支出やっているお金が、会費を上回るような過大な支出を還元しているという様なところで事業そのものが、何故そういう運営をやっているのかというふうなところで見直した記憶があります。
委員	還元していたもので最初から切り詰めていっている。
事務局	そうです。それ以上に上乘せをして、会員に給付しているような実態があったので、そこはもう切るべきでしょうと。

<p>会長</p>	<p>それはわかります。</p> <p>それと笑い話しかもしれませんが、他の自治体のケースで、活動助成金の審査をしたときに市に対して50万円の助成金を下さってということだったと思いますけど、申請があって、そこまで頑張った成果の50万円を、一方で海外のどこかの公益団体に寄付するという申請があったことがあります。そういうたぐいの世界ですよ。そっちのほうがまだ公益性がありますけどね。</p> <p>はい。ではよろしいでしょうか。他にご質問なければ、その他の方に移ってもよろしいでしょうか。</p> <p>事務局の方でその他についてご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">【日程調整】</p>
<p>会長</p>	<p>回数も少ないことから、できるだけ全員で出席が望ましいとは思いますがご多忙の方々ばかりですので、もし1欠とか2欠とかなら定足数の範囲で成立させて、委員さんには前もってブリーフィングしていただいて、意見をいただいてここで公表していただきながら我々も参考として進めていく方法が良いと思いますので、そういう事があってもやむをえないなというふうにご了解いただけたらなと。可能な限り全員出席願いたいと思います。</p> <p>では、次回の審議会は8月8日ですね。18時からに決定します。</p> <p>開催場所等の詳細につきましては、事務局さんから後日お知らせするということですので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、よろしくをお願いします。本日はありがとうございました。</p>